

3号機 シャワー廃液処理設備配管の小さな穴の確認について

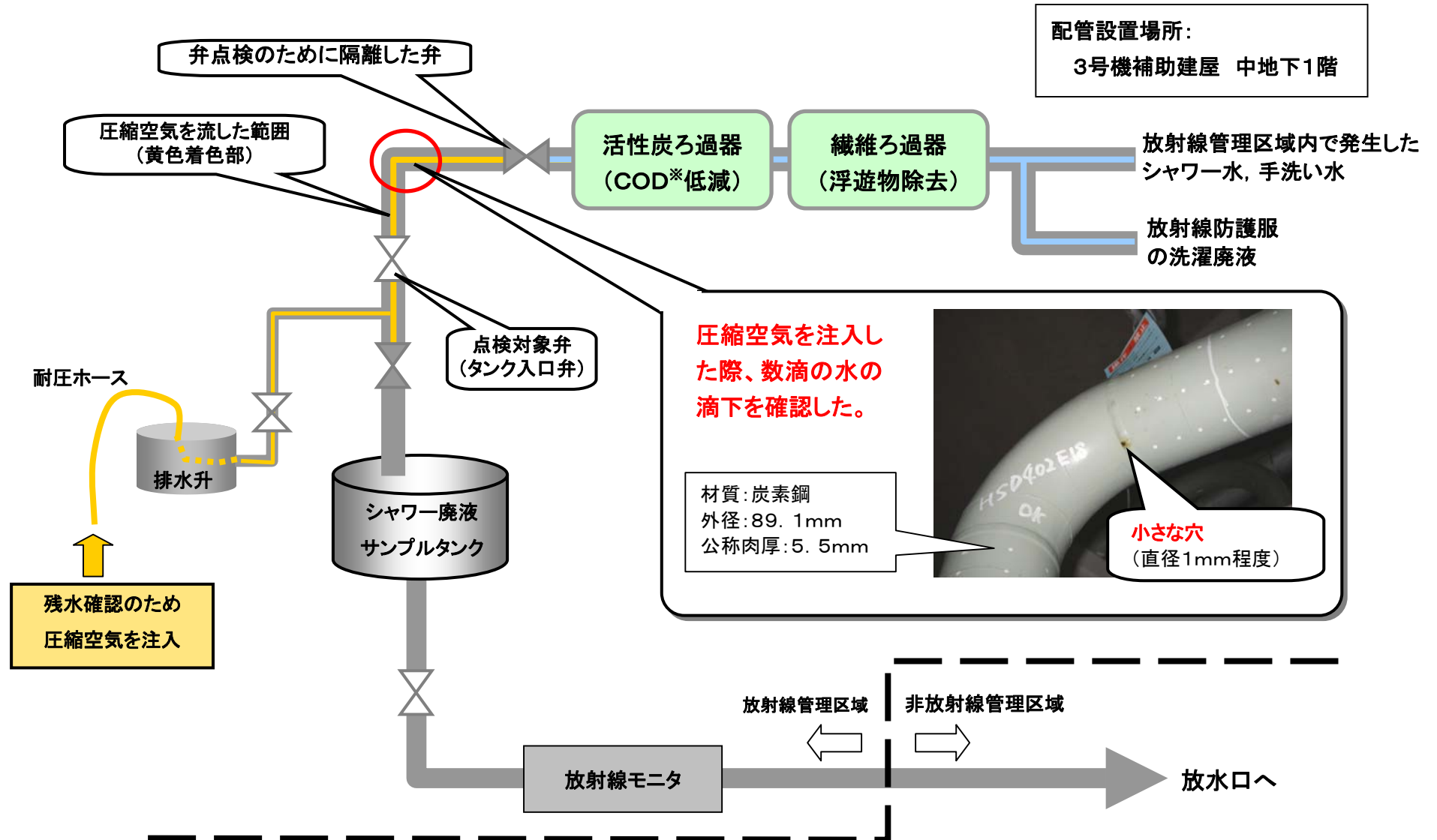
平成 19 年 4 月 3 日

号機	3号機（定格熱出力一定運転中） ：沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生日	平成19年3月31日
状況	3月31日、「シャワー廃液処理設備(※1)」の弁の点検を実施するため、配管内の水抜き作業を実施していました。同日午後2時頃、配管内部の残水確認のため当該配管に圧縮空気を通したところ、これに繋がる配管(点検のため水抜き中)の溶接部から数滴の水の滴下を確認しました。当該箇所を調査したところ、配管溶接部に小さな穴が認められました。滴下した水を測定した結果、放射能は含まれていませんでした。本事象によるプラントへの影響はなく、安定運転を継続しています。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
原因	今後、配管を切断して調査します。
今後の予定	準備・手続きが整い次第、当該配管を取り替えます。
お知らせ基準	「表2-20(その他)」に該当します。

※1 「シャワー廃液処理設備」は、放射線管理区域内の作業員用シャワー、手洗設備等からの廃水を処理する設備です。なお、当該設備の配管は、工事計画認可申請書の記載対象設備です。

以上

系統概略図



※水質の指標のひとつで化学的酸素要求量と呼ばれ、水質が悪くなる程CODは高くなります。